

令和4年度 国語科 第3学年 年間指導計画

学期	月	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
1 学 期	4月	1. 深まる学びへ 握手	時間・場所など、「現在」と「回想」の部分を読み分けるポイントとなる語句や、登場人物の心情や人物像を表す言葉、比喩表現などに着目している。	文章の内容に沿って登場人物の生き方や価値観を読み取り、自分の知識や経験と比較しながら考えている。	粘り強く物語の展開のしかたを捉え、学習課題に沿って作品を批評したり、考えたことを伝え合ったりしようとしている。	
		学びて時に之を習ふ	教材文を参考に歴史的背景を押さえ、教材の書き下し文や訓読文を読むことを通して、「論語」の世界に親しんでいる。	孔子の人間の生き方に関する考えを、自分の生き方や生活と関連づけて考えている。	人間、社会、自然などについて積極的に自分の意見をもち、今までの学習を生かして朗読したり考えを伝え合ったりしようとしている。	
		文章の種類を選んで書こう	随筆、物語、報道文など、さまざまな種類の文章があることを理解している。	担当した記事の内容が効果的に伝わる文章の種類を選択し、その種類に合わせた文章の構成や表現を工夫している。	進んで文章の種類を選択し、学習の見通しをもって情報を編集し文章にまとめようとしている。	
		漢字1 熟語の読み方、漢字に親しもう	漢字の音訓や、熟語における音訓の組み合わせに注意して、漢字を読んだり書いたりしている。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	
	5月	2. 視野を広げて 作られた「物語」を超えて	具体と抽象の関係を理解している。	原因と結果、意見と根拠、具体と抽象などの関係に着目して、それらが文章の中で無理なく結び付いているかを確かめながら、自分の考えをまとめている。	進んで文章の構成や論理の展開のしかたについて評価し、報と情報の関係について深めた理解を生かして、文章にまとめようとしている。	
		説得力のある構成を考えよう スピーチで社会に思いを届ける	情報の発信者・出典、調査方法、情報の数などが適切か確認して、必要な情報を集めている。	話す目的や相手を明確にし、相手の立場に立って、伝える必要がある情報を選んでいる。	相手を説得できるように粘り強く論理の展開などを考えて話の構成を工夫し、今までの学習を生かして自分の考えを話そうとしている。	
		漢字に親しもう2 文法への扉1 すいかは幾つ必要？	文や文章の中で漢字を読んだり書いたりすることに慣れている。 既習の文法事項が、日常の会話や文章を見直したり文の表現効果を考えたりする際のポイントになることを理解している。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。 助詞や助動詞の働きなどを進んで振り返り、今までの学習を生かして練習問題に取り組もうとしている。	
	6月	報道文を比較して読もう	事実や事例の選び方、取り上げ方や語句の選び方に着目して文章を読み、書き手の思惑や意図について考えている。	読み手に必要な情報を過不足なく伝えているか、読み手の状況に合わせた言葉や表現を使っているか、不親切で誤解を招く表現になっていないかなどの点に着目して文章を読み、課題に取り組んでいる。	積極的に情報の信頼性の確かめ方を使って読み、学習したことを踏まえて実生活への生かし方を考えようとしている。	
		3. 言葉とともに 俳句の可能性	俳句で使われている語句の意味を理解したり、豊かなイメージを喚起する効果的な語句に着目したりしている。	語句の選び方や表現のしかたに着目して俳句を読み、評価している。	進んで文章の種類とその特徴について理解し、学習課題に沿って、鑑賞文を書いたり俳句を創作したりしようとしている。	
		言葉1 和語・漢語・外来語 「私の一冊」を探しにいこう	和語・漢語・外来語について理解し、相手や場面に応じて適切に使っている。 本のさまざまな探し方について理解し、興味をもてそうな本を見つけている。		進んで和語・漢語・外来語を理解し、今までの学習を生かして相手や場面に応じて適切に使おうとしている。 登場人物の生き方、作品に描かれた時代、社会状況などの観点から、自分の考えを書評にまとめている。	
	2 学 期	9月	4. 状況の中で 挨拶——原爆の写真によせて	比喩や象徴的な表現に着目し、文脈の中での意味を考えている。	詩に用いられている比喩や象徴的な表現の効果について自分の考えをまとめている。	詩の構成や表現のしかたについて積極的に評価し、学習課題に沿って読み深めた詩について、感じたことや考えたことを伝え合おうとしている。
			故郷	文学作品を読むことが、自分の人生や自分が生きている社会について深く考えるきっかけとなることに気づいている。	自分の知識や経験と比べたり、語り手や人物の立場、時代背景などを変えて読んでみたりして、作品のもつ特性や価値を探っている。	粘り強く文章を批判的に読み、今までの学習を生かして小説を批評したり、自分の考えをまとめたりしようとしている。
10月		言葉2 慣用句・ことわざ・故事成語	慣用句を使って短文を作ったり、ことわざや故事成語を調べたりしている。		積極的に慣用句やことわざ、故事成語を理解し、今までの学習を生かして短文を作ったり調べたりしようとしている。	
		漢字2 漢字の造語力 漢字に親しもう3	漢字の造語力を意識しながら、漢字を読んだり書いたりしている。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	
		5. 自らの考えを 人工知能との未来 人間と人工知能と創造性	情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。	二つの文章を比較して共通点や相違点を表にまとめ、それを基に、話し合っている。	積極的に二つの文章を批判的に読み、学習課題に沿って自分の考えを文章にまとめようとしている。	
11月		多角的に分析して書こう 説得力のある批評文を書く	具体的な題材を基に、その価値についてまとめている。	自分の意見を支える根拠となる資料を引用するなどして構成を考え、批評文を書いている。	粘り強く表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりし、学習の見通しをもって批評文を書こうとしている。	
		漢字に親しもう4	文や文章の中で漢字を読んだり書いたりすることに慣れている。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	
		合意形成に向けて話し合おう 課題解決のために会議を開く	複数の発言の共通点を結び付けて、一つの提案にまとめている。	提案を分類・整理し、観点を決めて検討したり、互いの意見の長所を生かしたりして話し合っている。	合意形成に向けて粘り強く考えを広げたり深めたりし、学習の見通しをもって話し合おうとしている。	
12月		6. いにしえの心を受け継ぐ 夏草——「おくのほそ道」から	作者や作品について興味をもち、俳句と地の文との関係に注意しながら朗読している。	芭蕉の「旅」についての考えを読み取り、現代の「旅」がもつ意味と比較している。 芭蕉が見たものや感じたことを想像している。	人間、社会、自然などについて進んで自分の意見をもち、今までの学習を生かして発表したり文章にまとめたりしようとしている。	
		古典名句・名言集	気に入った名句や名言をノートに書いたり、それについて自分の考えを書いたりしている。		長く親しまれている言葉や古典の一節を進んで引用するなどし、今までの学習を生かして朗読したり書き出したりしようとしている。	
		7. 価値を生み出す 誰かの代わりに	抽象的な概念を表す語句を辞書で調べたり、文脈上での意味を確認したりしながら、文章を読んでいる。	文章を批判的に読み、友達と意見を交換しながら、筆者の考えについて自分の考えをまとめている。	人間、社会、自然などについて進んで自分の意見をもち、今までの学習を生かして、理解したことや考えたことについて議論したり文章にまとめたりしようとしている。	
1月		書写 書写を生かそう	二年生までに学習した書き方を確認して、字形を整えて書いている。	書写の学習で身につけた知識や技能を、学校や日常の中に生かして文字を書いている。	日本の伝統文化に触れ、学習課題に沿って漢字や仮名の筆使いに注意して書こうとしている。	
	情報を読み取って文章を書こう グラフを基に小論文を書く	具体的な情報を基に、着眼点を決めて分析し、自分の考えをまとめている。	資料から読み取ったことと考えとの関連などについて、改善点を助言し合って推敲している。	論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえて粘り強く推敲し、学習の見通しをもって小論文を書こうとしている。		
	漢字3 漢字のまとめ 漢字に親しもう5	文や文章の中で漢字を読んだり書いたりすることに慣れている。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。		
	文法への扉2 「ない」の違いがわからない？	「ない」の違いについて品詞や働きの違いを文章の中で理解している。		単語の活用、助詞や助動詞などの働きについて進んで理解し、これまでの学習を生かして課題に取り組もうとしている。		
	8. 未来へ向かって 温かいスープ	文章に表現された人と人との関係を通して、国際性とは何かを読み取ったり、読書が自分の生き方や社会について考えるきっかけとなることに気づいたりしている。	自分の生き方と作品に表現された考え方を比較して、「国際性」とは何か自分の考えをまとめている。	人間、社会、自然などについて進んで自分の意見をもち、今までの学習や経験を生かして批評したり考えを伝え合ったりしようとしている。		
3 学 期	3月	わたしを東ねないで	言葉の使われ方や表現の特色に気をつけながら詩を朗読している。	詩に描かれた情景や作者の思いを想像しながら、社会状況や人間の生き方について考えている。	詩を読んで進んで考えを広げたり深めたりし、今までの学習を生かして、作品の価値や自分の可能性について考えをまとめようとしている。	
		漢字に親しもう6	音訓や部首などに気をつけて、これまでに学習した漢字を読んだり書いたりしている。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	
		評価方法	【定期考査】 【小テスト】 【長期休業中の宿題テスト】	【定期考査】 【小テスト】 【討論・話し合い】 【スピーチ】 【作文】 【長期休業中の宿題テスト】 【授業中の生徒観察】	【ノート・ワーク】 【授業中の生徒観察】 【討論・話し合い】 【ポートフォリオ】 【漢字練習帳】	